

分水良寛史料館 新春企画展を開催

— 良寛ゆかりの禅僧と江戸の絵師が描く書画を展示します —

分水良寛史料館では、良寛と親交の深かった禅僧・有願と、有願に絵を教えた絵師・狩野梅笑の作品を中心とした新春企画展を開催します。

本企画展では、江戸で活躍した梅笑のダイナミックな作品「龍之図」や、中国で広く信仰される厄除けの神を描いた有願の作品「赤鍾鬼」など24点を展示します。

【江戸の絵師・狩野梅笑（玉元）と禅僧・有願の世界 概要】

1. 会 期：2月9日（火）～3月21日（日）
2. 会 場：分水良寛史料館（燕市上諏訪9番9号）
TEL 0256-97-2428
3. 時 間：午前9時～午後4時30分
4. 入館料：燕市民は無料（企画展期間のみ）

市外の方は	大人	300円
	高校生・学生	200円
	小・中学生	100円

5. 休館日：毎週月曜日
（祝休日の場合は翌日）
6. 内 容：狩野梅笑の「龍之図」、「布袋他」や、
有願の「赤鍾鬼」、「唐獅子」など
7. 展示数：24点



● 狩野梅笑について

狩野派の絵師として江戸で活躍していたが、一時破門になり、越後や奥州を転々としていた。その時に越後で禅僧・有願と出会い、梅笑が有願に絵を教えるなど親交があった。なお、玉元とは梅笑が越後で使用していた号である。

● 有願について

三条市代官島の庄屋に生まれ、晩年は新飯田にある円通庵で暮らしていた禅僧。良寛とは親密な関係であった。個性的で優れた書画を数多く残している。

「ふるさと燕」を守ろう！

新型コロナウイルス感染症緊急対策

7-24
イレブン
+

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 社会教育課：加藤
電話：0256-63-7002（直通）